

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	11
事業名	検診等事業費	会計	款	項	目
		一般	4	1	2
施策	2	人にやさしいまち	課名	健康長寿課	
	2-1	健康に暮らすまちをつくる	係名		
	2-1-1	自らの健康づくりの推進			
主要施策	②各種健診の充実		⑥感染症対策の推進		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	20歳以上の女性 40歳以上の男女	目的 (対象がどのような状態になっているか)	各種がん検診等の受診を勧奨し、疾病の早期発見・早期治療を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢のいる全世帯に検診申込書を配布し、受診希望者を募り検診希望者には受診票を送付する。検診結果により要精密検査の方には専門機関の受診を促し、疾病を早期発見・早期治療する。 			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)		
	1	各種検診受診者数	11,654	11,455	11,346	人	↑	12,200	
2									
3									
4									
5									
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)		令和2年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B				30,001	29,912	38,684			
財源内訳	直接事業費 A				26,521	26,432	32,654		
	うち一般財源				25,217	26,432	32,654		
人件費 (千円) B				3,480	3,480	6,030			
内訳	一般職員 (人・千円)		0.5	3300	0.5	3300	0.75	4950	
	臨時職員 (人・千円)		0.1	180	0.1	180	0.6	1080	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	後期高齢者医療の集団検診を実施する。	③取組の課題	個別検診が可能なものが増えれば、住民のニーズに対応できるが、受入可能な病院が少ない。
②R1年度に実施した取り組み	令和2年度から4年度までの検診業務委託契約において、後期高齢者健康診査を集団で実施できるようにした。 また、乳がん集団検診時に自己触診の啓発を実施することとした。	④今後の改善計画	女性のがん検診について、個別検診の対象を広げる。(相応の自己負担を徴する。)